

週間漁海況情報—第6号

平成26年2月10日

内容は水産研究課ホームページ <http://www.pref.tokushima.jp/tafftsc/suisan/> で公開され、原則として毎週月曜日夜間に更新します。

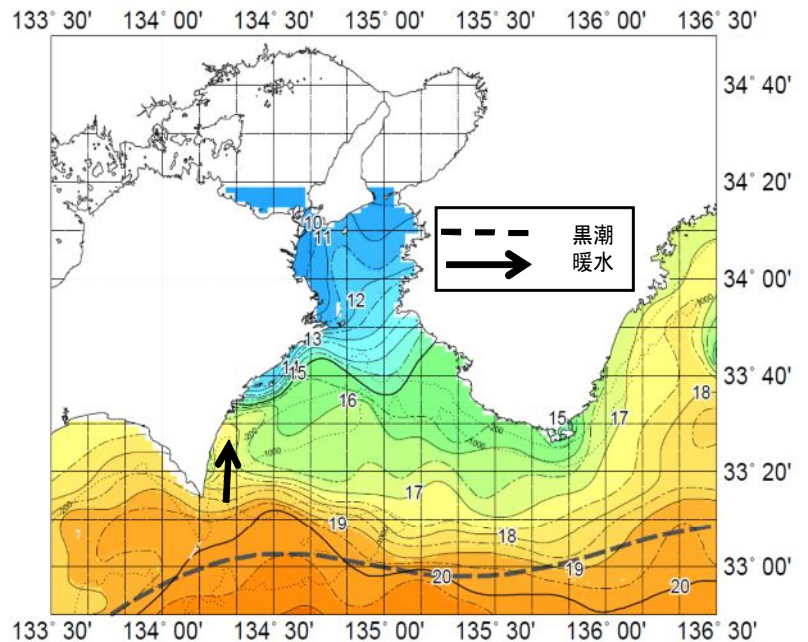
徳島県立農林水産総合技術支援センター
水産研究課

1. 海況の経過

右に千葉県、東京都、神奈川県、静岡県、三重県及び和歌山県が共同で作成した海況図（H26.2.10）を示した。

黒潮は、室戸岬沖及び潮岬沖でやや離岸している。

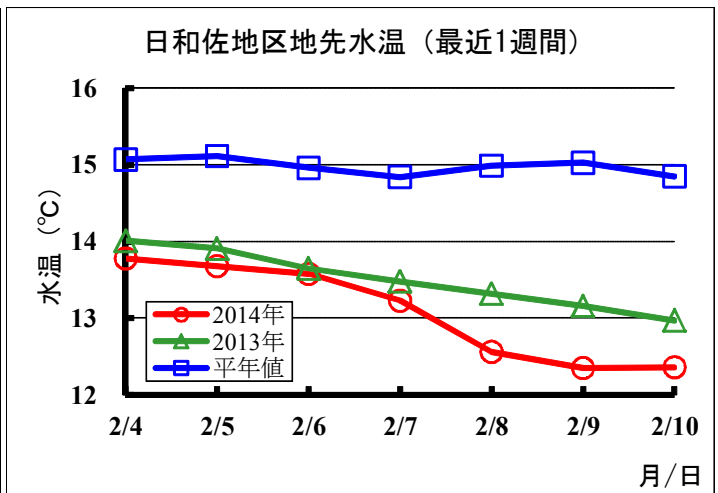
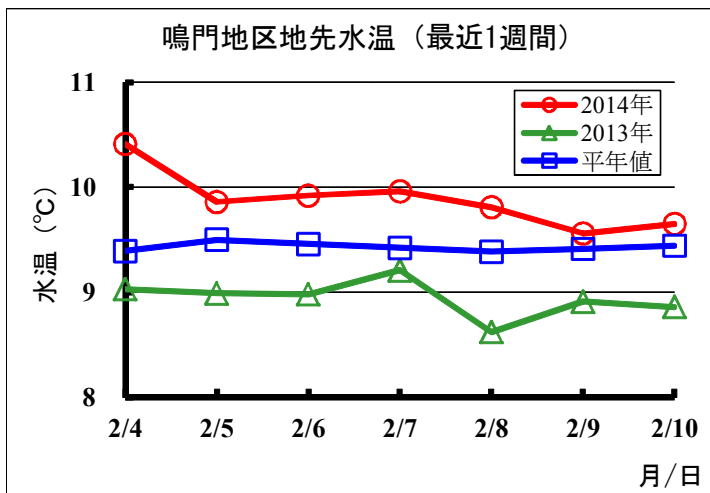
黒潮本流の表面水温は、19～20℃台である。徳島沿岸の表面水温は、播磨灘で9℃台、紀伊水道で10～12℃台、海部沿岸で12～17℃台である。紀伊水道外域では、室戸岬沖から海部沿岸に向け、17～18℃台の暖水流入がある。



漁業調査船「とくしま」で2月4、5及び6日に行った紀伊水道海区の海洋観測では、表層～30m層において「平年並」の11.9～13.6℃、50m層において「やや高め」の13.9℃であった。

紀伊水道海区観測結果

観測日		水 温					塩 分				
		表層	10m	20m	30m	50m	表層	10m	20m	30m	50m
2/4, 5, 6	今年値	11.9	12.0	12.5	13.0	13.9	33.0	33.1	33.3	33.6	34.0
	平年偏差	0.3	0.2	0.1	0.3	0.5	-0.2	-0.3	-0.2	-0.1	0.1
	前年偏差	0.7	0.6	0.5	0.4	0.6	0.2	0.1	0.1	0.1	0.3



地先水温 最近1週間の地先水温は、鳴門地区は「平年並」～「やや高め」の9.6～10.4℃、日和佐地区は「かなり低め」～「やや低め」の12.4～13.8℃、牟岐地区は「かなり低め」～「やや低め」の10.1～13.6℃で推移した。

* 水温偏差の目安

平年並：±0.49以下、やや高め（やや低め）：±0.50～1.49、高め（低め）：±1.50～2.49、かなり高め（かなり低め）：±2.50以上

* 平年値

鳴門地区：1981～2010年の平均値、日和佐地区：1982～2010年の平均値

2. 漁況の経過

延縄：海部沿岸で、カワハギが0.3トン（1日1隻あたり37kg）水揚げされた。

建網：海部沿岸で、中主体にヒラメが0.6トン（同4kg）水揚げされた。

小型定置網：海部沿岸で、カタクチイワシが0.5トン（同31kg）、アオリイカが0.2トン（同4kg）水揚げされた。

大型定置網：海部沿岸で、小小主体にマアジが0.6トン（同84kg）、メジロが1.8トン（同263kg）、中主体にスルメイカが0.4トン（同60kg）水揚げされた。

釣り：海部沿岸で、大主体にタチウオが0.5トン（同83kg）水揚げされた。

漁業種類別集計表（抜粋） 2014年2月3日～2014年2月9日

県下6漁協から聞き取り

漁業種類	漁獲海域	魚種	延べ出漁隻数	漁獲量(kg)	1日1隻当たり漁獲量(kg)	銘柄・その他
延縄	海部沿岸	カワハギ	8	297	37	
建網		ヒラメ	147	595	4	中主体
小型定置網		カタクチイワシ	17	520	31	
		アオリイカ	49	214	4	
大型定置網		マアジ	7	591	84	小小主体
		メジロ	7	1,844	263	
		スルメイカ	7	421	60	中主体
釣り		タチウオ	6	496	83	大主体

昨年同時期の主な漁獲傾向：昨年の2月4日～2月10日には、海部沿岸では、延縄で、大主体にキダイが0.4トン、建網で、ヒラメが0.3トン、メジナが0.2トン、小型定置網で、カタクチイワシが1.6トン、キビナゴが0.3トン、スルメイカが0.3トン、大型定置網で、マメ主体にマアジが0.2トン、中主体にスルメイカが1.3トン、釣りで、大主体にマアジが0.2トン水揚げされた。

週間予報：黒潮は、室戸岬沖及び潮岬において「やや離岸」で推移する見込み。地先水温は、鳴門地先で「平年並」の9℃台、日和佐地先で「かなり低め」～「やや低め」の12～13℃台で推移する見込み。